



第1回 SSC 教育セミナーのご案内

みんなで考えよう “教師として必要なこと”

主催 NPO法人SSCスモールスクールちんげん
代表 武田 恭宗

テーマ 教師として必要なこと

新しい学習指導要領では、子どもたちに『生きる力』を育むという理念のもとに、①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②課題解決のための思考力・判断力・表現力等の習得、③学習意欲の向上が重視されています。確かにこれら3点は、どれも重要な要素です。しかし、私の教師生活40年を振り返ってみますと、これらの要素以外にも大切なものがあります。

今回のセミナーでは、2日間の講演・ワークショップを通して、教師として必要なこととは何かについて、皆様と共有できればと願っています。

日々子どもたちと向き合い、自分なりの教師像を目指し実践されている先生方が、もう一度原点に立ち返って理想の教師像を考えていただく機会になれば、うれしく思います。

皆様のご参加をお待ちしております！！
社会人の方々のご参加も大歓迎です！！

【日程と内容】

9月24日(土)		9月25日(日)	
		9:30	受付
		10:00	講演とワークショップ 「教師力を高める」 講師 蛭田正朝先生
13:30	受付	12:00	昼食
14:00	講演とワークショップ 『ものの見方・考え方』を育む 講師 武田恭宗	13:00	講演 「教師としての心構え」 講師 川嶋 優先生
16:30		14:45	
		15:00	交流会

- 期 間 平成23年9月24日(土)・25日(日)2日間
- 場 所 成城学園本部棟3F大会議室(学園正門の案内所裏の建物です)
東京都世田谷区成城6-1-20
- 募集人員 20名
- 費 用 10000円(交流会費含む)

お申し込み & お問い合わせ 下記へメールまたは電話/FAXにてお申し込みください。

NPO法人SSCスモールスクールちんげん事務局 電話/FAX 03-3300-9099(武田)

Mail: chingen.takeda@gmail.com

携帯: 090-2639-9099

申し込み締切: 平成23年9月16日(金)

〈 講演の要旨 〉

講演1：『ものの見方・考え方』を育む

SSC代表 武田 恭宗

教師は、「学習指導要領」の内容を理解し、子どもを指導する必要があります。また、より良く指導するためには教師自身の研究が大切になります。その一つとして、『ものの見方・考え方』を育てるために、今回は「コトワザ」、「川柳」を取り上げてお話をさせていただきます。

ワークショップ：「コトワザ」・「川柳」

講演2：教師力を高めるー『授業力』ー

東京福祉大学特任教授 蛭田 正朝

平成17年の中央教育審議会の中に、義務教育改革の目標として、「学校の教育力、すなわち『学校力』を強化し、『教師力』を強化し、それを通じて子どもたちの『人間力』を豊かに育てること」が掲げられている。教育改革が声高に叫ばれているが、その要は、つまるところ「教師力」の強化なのである。

そこで、教師力とは何かということになるが、簡単に言えば、「教師の力量」である。豊かな人間性を前提にした、教師の力量とは、“授業力”にあると考えている。よい授業を開発するために、日々悪戦苦闘する教師の姿こそ尊いと、強く思っている。

ワークショップ：作文

講演3：教師としての心構え

学習院名誉教授・川嶋 優

近年、学校の教師は指導者から支援者へと立場が変わってきていないでしょうか。今、学校教育で問われている混迷状態は、この姿勢にあります。

教師は、権威をもった指導者でなくてははいけません。はっきり言って権威のない教師には、誰もついてこないからです。そのためには、児童・生徒、そして保護者からも“仰げば尊し”とあがめられる実力を身につけましょう。まずは、私たち教師から勉強です。

学校の主役は教師です。教師が良くなれば、必ずその学校は良くなります。教師としての自信を少しでも深めてくださればとの趣旨で皆様にお話ししたいと考えています。

〈 講演者プロフィール 〉

川嶋 優

学習院名誉教授。国語教育を考える会顧問

東京学芸大学卒業後、ロックフェラー財団特別研究生として国際基督教大学大学院で「言語とコミュニケーション」専攻。元学習院初等科長（小学校長）を含め42年にわたり教鞭を執る。

【主な著書】

主な著書「漢字をおぼえる辞典」「小学生漢字の達人になる辞典」「例解小学ことわざ辞典」「日本人として大切にしたい品格の躰け」「子どもは若殿、姫君か？現代教育論批判」

蛭田 正朝

東京福祉大学特任教授。全国小学校国語研究所副所長。

東京都教育委員会主任指導主事、小金井第一小学校校長、武蔵村山市教育委員会教育長を歴任。

【主な著書】

主な著書・編著「PISA型読解力が向上する国語科授業の実際」「国語教育研究大辞典」「学習作文指導細案」「授業に生きる『指導案』をどう書くか」「新しい国語科指導法の創造」「国語科授業の展開」

武田 恭宗

NPO法人「SSCスモールスクールちんげん」代表。学校法人「日本芸術学園」理事、「国語教育を考える会」代表、全国小学校国語研究所所員。

熊本大学卒業後、阿蘇中学校英語教諭2年（熊本県中・高英語教師第一回アメリカ・カナダ海外研修派遣）を経て成城学園初等学校併せて40年にわたり教鞭を執る。その間、東京私初協会国語部主任、日私小連国語部委員長、かんぽ作文コンクール審査委員

【主な著書】

「学校図書館を必要とする授業を創る」、「国語科における関心・意欲・態度の評価補助簿」、「生きる力が育つ漢字の学習」、「“これだけは教えたいシリーズ①～⑪12年間の研究”」「42年間にわたる正課『遊び』の時間の教育実験」、「私の実際的教育学」、「『生きる力』を育てる私の国語教室」。

